

事業コード	H22-建-新-01		区 分	国庫補助 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(交通安全)		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	歩道設置事業		班 名	調整・企画管理班 (tel) 018-860-2484
路線名等	国道282号		担当課長名	大塚 行雄
箇所名	鹿角郡小坂町手紙沢		担当者名	佐藤 秀治
総合計画との関連	政策コード	15	政 策 名	安全・安心なまちづくり
	施策コード	01	施 策 名	安全・安心な地域づくりの推進
	指標コード	04	施策目標(指標)名	交通環境の改善

## 1. 事業の概要

事業期間	H23 ~ H25 (3年)		総事業費	2.5億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=780.0m 幅員 W=12.0m(2.50+1.50+3.25+3.25+1.50)						
事業の立案に至る背景	<p>国道282号は、岩手県盛岡市から鹿角市・小坂町を経由し、青森県平川市までの延長L=124.2kmの主要幹線道路である。十和田八幡平国立公園を中心とした観光拠点を連絡する観光道路としての機能を有するとともに生活圏中心地域(花輪)へ連絡する幹線道路として、また、高速道路閉鎖時は代替機能を果たす重要な路線である。</p> <p>当該区間は大型車交通量が多い区間であるが、車道幅員が5.5mと狭小でかつ歩道のない区間であり、大型車のすれ違いや歩行者の安全な通行に支障をきたしており早急な整備が必要なことから新規整備箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保)</p> <p>大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくり支援)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度以降
	事業費		250,000	35,000	103,000	112,000	
	経費内訳	工事費	181,000		81,000	100,000	
		用補費	30,000		20,000	10,000	
		その他	39,000	35,000	2,000	2,000	
	財源内訳	国庫補助	175,000	24,500	72,100	78,400	
		県 債	71,100	9,900	29,300	31,900	
その他							
一般財源	3,900	600	1,600	1,700			
事業内容			路線測量 詳細設計 用地測量 建物調査	用地買収 建物補償 工事L=350m	用地買収 建物補償 工事L=430m		
調査経緯	平成21年度 道路予備設計						
上位計画での位置付け	ふるさと秋田元気創造プランにおける「社会資本整備」をする事業である						
関連プロジェクト等	小坂町総合計画「小坂町エコライフ・プラン」を支援する事業 小坂町過疎地域自立促進計画<後期計画>(平成17年度~22年度)を支援する事業						
事業を取り巻く情勢の変化	大型車両の交通が多く児童生徒が通行する際に非常に危険な状況が続いている。 (大型車混入率26%(県内一般県道平均14%)、事故率70件/億台キ口(県内平均41件))						
事業効率把握の手法	指標名	歩道整備率					
	指標式	実績延長/道路延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有	無	
	目標値 a	38 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	38 %					
	達成率 b/a	99 %		把握の時期	平成22年 4月		

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	県北部の地域間交流を支える道路で、バス路線に指定されている生活道路である。 小坂小学校・小坂中学校の通学路に指定されているほか、小坂・十和田の両高校の生徒の通学にも使用されているが、当該区間は歩道未設置であり、車道幅員も狭小(5.5m)であるため大型車等のすれ違い時に歩行者が危険にさらされている状況にある。	30点
緊 急 性	東北自動車道通行止め時には代替道路として機能し、大型車の混入が更に増加する。 当該区間の死傷事故率が70.0件/億台キロ(県内平均41)と発生率が高い。	25点
有 効 性	二次救急医療施設である鹿角組合総合病院や、高速ICおよび観光地へ直接アクセスできる。 ふるさと秋田元気創造プランにおける各戦略を支える横断的な取り組みの社会資本整備の推進として計画への貢献度が高い。	15点
効 率 性	既設道路の拡幅がほとんどであり、新たな構造物整備の必要がないようにコスト縮減を図っている。	10点
熟 度	小坂町および地元住民から、歩道設置要望が出されている。	15点
判 定	ランク ( )	95点
	ランク であり、早急に事業を実施すべきと考える。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評定結果から、事業実施箇所として優先度が高く事業を実施すべきである。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	当該路線は、通学路指定路線になっており交通量も多く、前後区間では歩道整備済みであるが、当該区間は歩道未整備の状況にある。 歩行者の安全確保の観点から、必要性及び緊急性は高く、事業の実施は妥当と判断される。

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該区間は、地域間交流等を支える道路であるほか、生活道路及び通学路として重要であるが、歩道もなく、狭小で危険な状況にあるため、事業実施の優先度は高い。また、既設道路の拡幅がほとんどであり、新たな構造物整備が不要な計画となっているなど、コスト縮減の観点からも妥当である。

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業箇所を国に新規要望する。
----------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。
----------------

評価種別 新規箇所評価  
 適用基準名 交通安全事業（歩道）

事業コード(H22-建-新-01 )  
 箇所名 (鹿角郡小坂町手紙沢 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	1 2 時間自動車交通量	4,000台/日以上	10	10		
		1,000台/日以上	5			
		1,000台/日未満	0			
	歩行者交通量	100人/日以上	10	5		通学路以外の場合
		100人/日未満	5			
		学童・園児 40人/日以上 学童・園児 40人/日未満	10 5			5
	歩道の連続性	計画区間前後に歩道あり 計画区間前後の一方に歩道あり 計画区間前後に歩道なし	10 5 0	10		
	道路線形の修正 (視距の確保等)	有り	5			5
		無し	0			
	計			35		30
緊急性	関連事業の有無	有り	5	5		
		無し	0			
	事故状況 死傷事故 事故件数	歩行者の死傷事故あり 歩行者の死傷事故なし	10 0	10		
		6件以上 1~5件 なし	10 5 0			
	計			25	25	
有効性	交通安全指定道路	有り	5	5		
		無し	0			
	通学路指定	有り	5	5		
		無し	0			
	公共施設	有り	5	5		
無し		0				
計			15	15		
効率性	供用開始までの期日	5年以内に供用開始が可能であり、効果の出現が早い	10	10		
		供用開始まで6年から7年の時間を要する	5			
		供用開始まで8年以上と相当時間を要する	0			
計			10	10		
熟度	地元の協力体制	事業に協力的	10	10		
		用地反対等の問題あり	0			
	市町村の参画	要望書提出済み	5	5		
		要望書は未提出	0			
計			15	15		
合計			100	95		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		